特別
チ13
3849
52

役者父兄語　藝京堂

一日の藝は一部の
一時は一時
菜花の楽く
どーもあの
菜へ飲やうとやや
一寸先は闇なれ
玉幕はしりや
長の糸面の後夜
春宵一刻
千金の積物

[illegible]
[illegible]代 相模横手 和久屋 [illegible]次村住三郎

▲西巻首

○尺之郷端ヶ谷の産

上上吉 嵐 雅助

はるかぶねて中具の産ぶり

▲夜ぶ郷

上上吉 嵐 山十郎

[illegible]

上上吉 [illegible] 豊義

[illegible]

上上 嵐 [illegible]

去年中に晩て[illegible]

上 長川 [illegible]義

▲[illegible]郷

上上吉 中村家[illegible]

[illegible]

▲[illegible]郷

上上吉 桐山 [illegible]

先ガ[illegible]

上上 山下 [illegible]

[illegible]

上 中村 [illegible]義

上上 嵐 [illegible]

上上 沢村竹[illegible]

上上 市川長[illegible]

上上 大和[illegible]

▲[illegible]郷

上上吉 [illegible]

[illegible]

上上 嵐 房次郎

花ガ[illegible]

上上 中村[illegible]

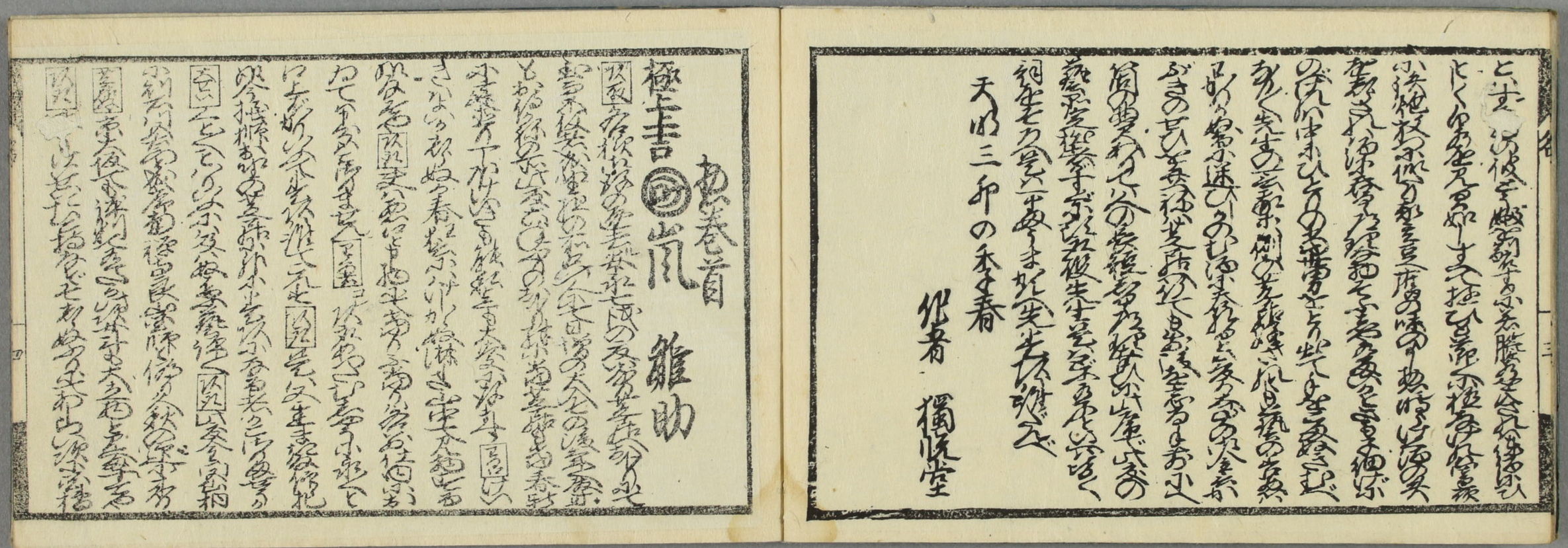
[illegible]

上 [illegible]

[illegible]

[illegible]

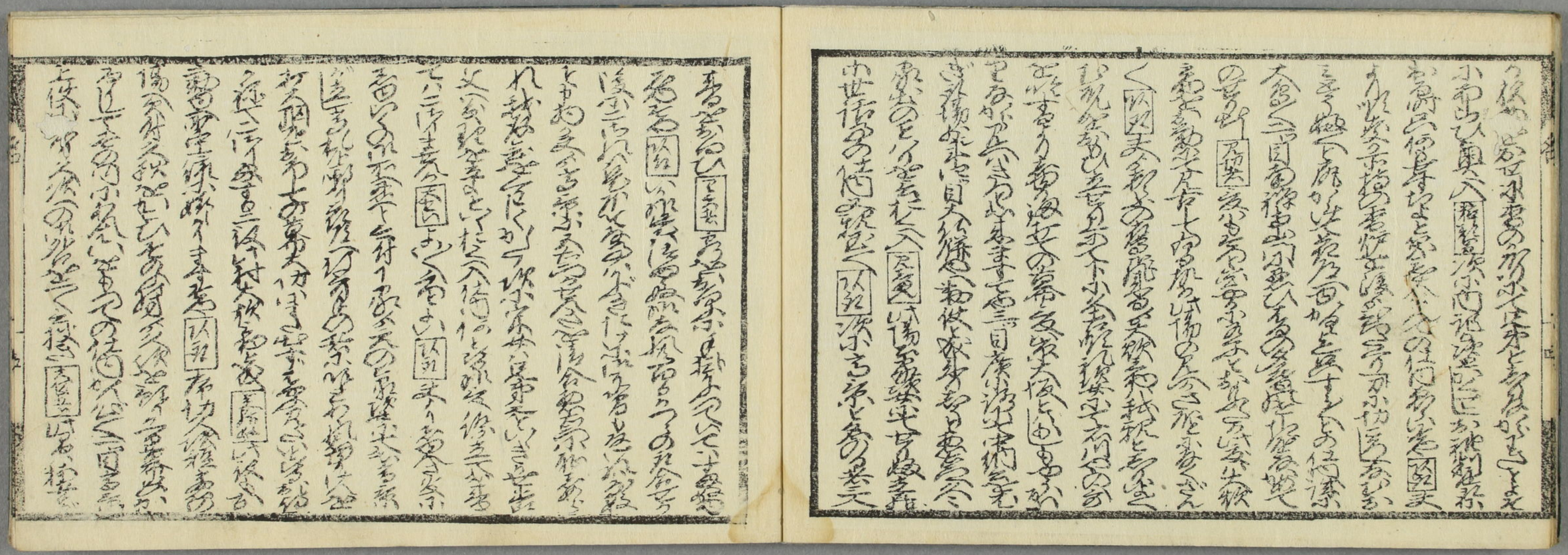
[illegible]



天明三年の春

作者　獨吟堂

極上書　あら春首　嵐雄助



立役

山十郎

乱れ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二帝

一 清和天皇

川面さんとかの条のよい伺なかりしを
かなしく思ひ給ふ事なくて二月ばかりの
間に御ぐしおろしたまひ給ふ
御年二十五にぞおはしける
御ぐしおろしたまひ給ふ
御ぐしおろしたまひ給ふ
御ぐしおろしたまひ給ふ

上下

月

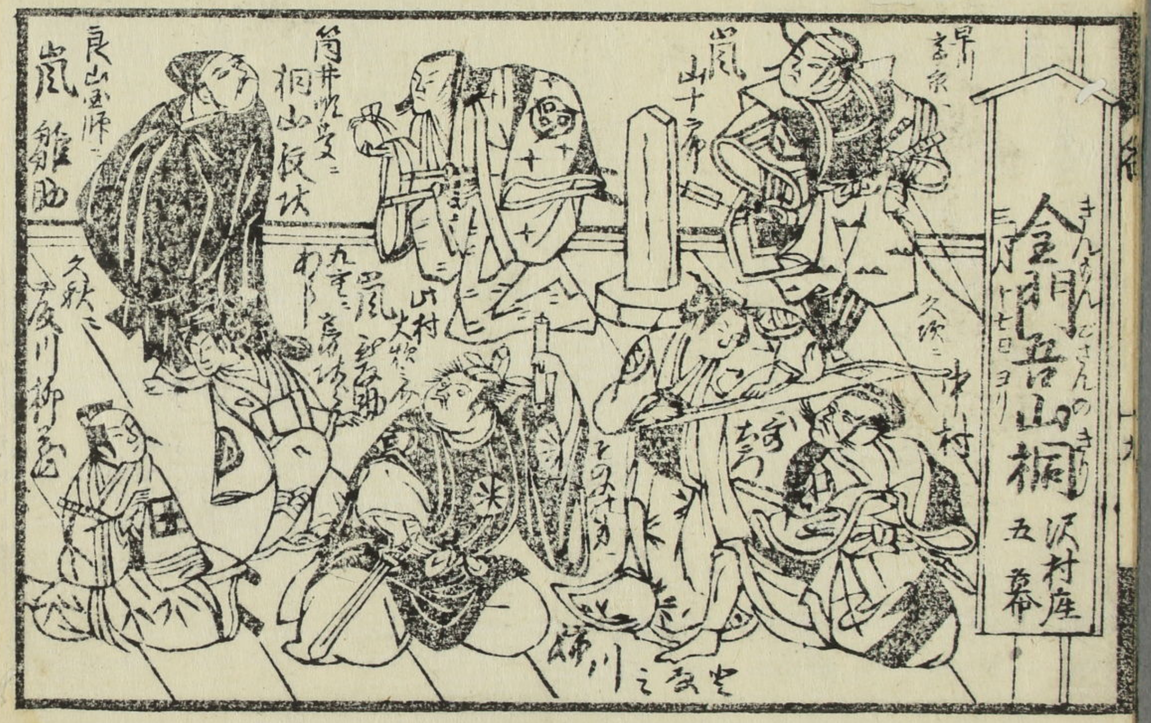
雪

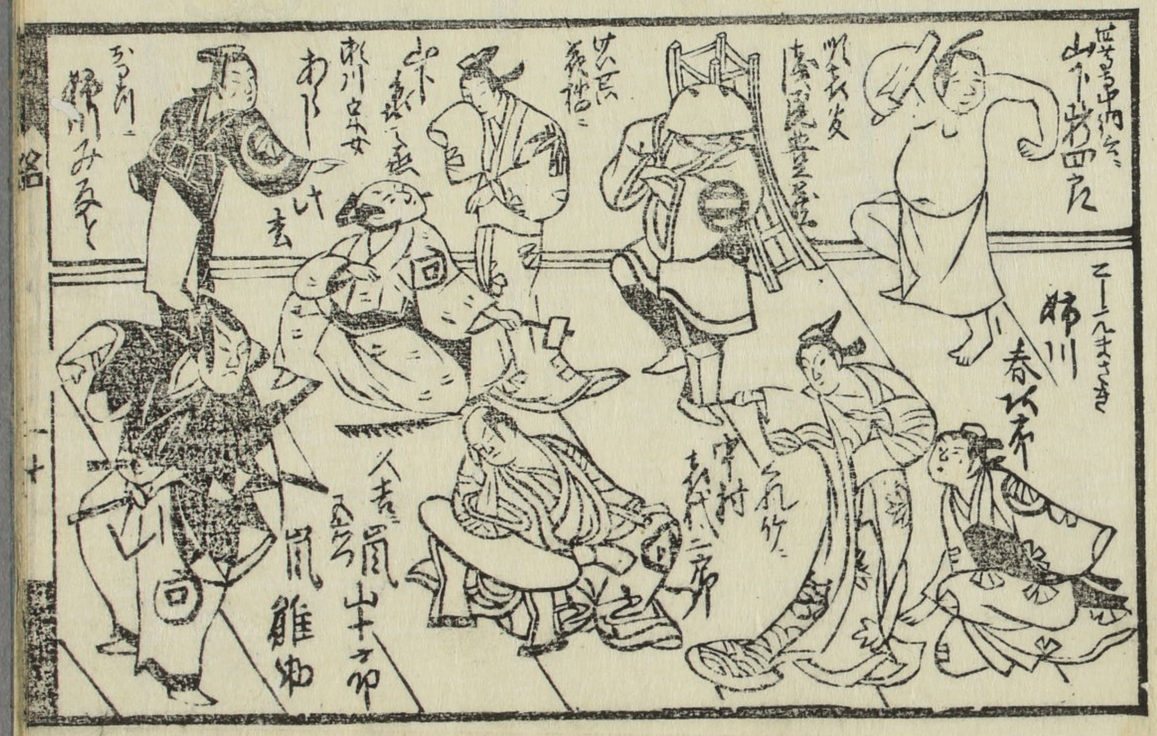
上

夜川柳義

上上書

中村家


金門五三桐
吾山の桐
沢村座
五幕
嵐山十郎
中村
嵐雛助
嵐雛助
嵐山十郎
嵐雛助


山下勝四郎
姉川
春以郎
中村
嵐山十郎
嵐雛助

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くさぐさかえひいきする

上上　山下新四郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上下 小 嵐 唐衣市

[illegible]

上下 中 村氏代三

[illegible]

上 卯 川崎市

[illegible]

上 上吉 山下新八郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]